



# 杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く 第40回全国都市緑化仙台フェアのご紹介

(一社) 日本造園建設業協会  
宮城県支部長 古積 昇

全国都市緑化フェアは、「緑ゆたかなまちづくり」をテーマに、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及を図ることにより、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、昭和58年(1983年)年度に大阪で開催されて以来、全国各地で開催されている国内最大級の花と緑の祭典です。

仙台市では平成元年度に「'89グリーンフェアせんだい」を開催して以来、34年ぶりの開催となります。

今回の開催テーマは「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」。「未来的杜せんだい 2023 ~Feel green!~」を愛称に、市民が主役となるフェアを目指します。

仙台フェアが開催される令和5年は、杜の都のみどり豊かな都市環境の形成に大きな役割を果たした「杜の都の環境をつくる条例」の制定から50周年の節目の年となり、次に掲げる開催意義、基本方針のもと、仙台フェアを開催します。

## 【開催意義】

1. 次世代へと続く新たな「百年の杜づくり」、2. みどりと親しむ生活と新たな交流の創出、3. 東日本大震災からのみどりの復興と防災のまちづくりの発信

## 【基本方針】

1. 杜の都のみどりの可能性を発信するフェア、2. 杜の都のみどりを体感するフェア、3. 次世代の担い手を育むフェア、4. みどりと花に囲まれたライフスタイルを生み出すフェア、5. みどりを通じて人がつながり、まちが賑わうフェア

## 【基本理念】

百年先の、みどり豊かな杜の都を育むために市民と事業者、そして未来を担う子どもたちとともに、自然との調和ある環境の創造”を目指してきたまちづくりを振り返り、これまで培ってきたみどりの大切さや素晴らしさについて学び、気づく機会を創出し、担い手の育成はもとより、次世代へと続く「百年の杜づくり」へつなげます。

開催期間は、令和5年4月26日(水)から6月18日(日)までの54日間、仙台市内の青葉山メイン会場をはじめ、まちなかエリア会場(定禅寺通り、青葉通り)、東部エリア会場、連携会場(東北大植物園・七北田公園・仙台市野草園・八木山動物公園)の4つとなります。

## ■メイン会場 (①青葉山公園追廻地区・②西公園南側・③広瀬川地区)

①仙台フェアの開催にあわせ青葉山公



4/26・6/18  
[Wed] [Sun]

入場  
無料

## まちなかエリア会場

けやきの新緑のなかで、  
まちを彩る花みどりの風景を  
楽しめます。



## 東部エリア会場

東日本大震災からの復興に  
関する展示や、親子で楽しめる  
体験プログラムを開催します。

21)、技術フォーラム・総支部・支部長会議(5/31・6/1)が開催予定ですので、視察につきましてご要望・質問等(宿泊・交流会ほか)ございましたら早めにご連絡いただけましたら幸いです。皆様のお越しをお待ちしております。

(連絡先: 宮城県支部事務局

E-mail:miyagi@jalc.or.jp  
直通080-1696-4128 古積昇まで)

学会の目・眼・芽 第131回

## 街路樹の管理育成のこれから

(公社) 日本造園学会理事、兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授 赤澤 宏樹

日本造園学会では、研究推進委員会を設置し、研究やその社会実装を進める取り組みを支援しています。今回新たに、街路樹研究推進委員会が設置されます。日造協からも参画いただき、街路樹の管理育成に関する環境的、技術的、社会的、制度的、経済的な課題について、産官学一体となって議論していく所存です。

◆  
街路樹は、まちの価値を高めるアーバン・フォレストとして、また近年の気候変動を緩衝するグリーンインフラとして、大きな期待が寄せられています。

一方で、国土の狭い我が国においては、道路構造令などに基づいて厳しい生育環境におかれ、十分に機能を発揮できず、逆に根上がりなどの問題が生じています。「落葉が落ちる前に強剪定してほしい」という市民要望によって計画通りの管理育成もしにくく、予算カットや単年度契約のため造園技術も発揮しにくい状況にあります。

戦後の様々な都市整備から月日が経ち、更新時期を迎えた街路樹も多くなった今、これらの複合的な課題を解決しつつ、街路樹の新しい価値を社会に示すことが大切です。



2010年代には、大径木化した街路樹が小さなハナミズキに更新されるなど、管理の省力化を見据えた更新が進んだように感じます。

一方で、間引きによる適切な育成や樹形回復が試みられ、近年では街路樹の維持管理計画が適正化をふまえて策定され、広域の維持管理業務が複数年契約で発注されるなど、管理育成にとって良い動きがみられます。

協働の取り組みも進み、市民参画や民間事業者による街路樹の管理育成の事例も各地でみられるようになりました。

これらの事例を全国で共有し、課題と効果を検証することで、より広く社会に実装させていく必要があります。

最新の動向としては、世界的に導入が進んでいる樹木の分析・便益評価ツールであるi-Treeが、東京都で正式にサポートされ、国内導入の可能性の第一歩を踏み出しました。

街路樹の様々な機能を把握し、価値化することができるため、客観的なデータに基づいてそれらを最大化するEBPM(根拠に基づく政策立案)が期待されます。

また、レーザー測量やVRなど新たな技術の導入も研究されており、我々造園人が持つべき技術も大きく変わることかもしれません。

これらの最新情報も産官学で共有し、業界一体となって社会実装を進めていきたいと考えています。



# 【実施報告】地域リーダーズ勉強会（会場：広島県広島市） 災害逃れた名園と緑の復興を学び、交流

中国総支部  
地域リーダーズ 小立 亮  
(島根県支部 (株)小立造園)



集合写真

新型コロナウイルス感染拡大の影響から延期となっていた地域リーダーズ勉強会は、広島にて令和4年11月21日（月）～22日（火）の2日間、全国から約140名の参加者をお迎えして開催することができました。

全国規模では2019年（平成31年）2月、京都勉強会以来であり、約4年ぶりの開催となりました。

## 正本副会長、松戸総リーダー挨拶

開会にあたり、地域リーダーズの代表として松戸総リーダー、日造協本部を代表して正本副会長から挨拶をいただきました。

松戸総リーダーからは、「2010年に発足した地域リーダーズが、今回の広島勉強会をもって、全国10総支部全てで開催することができ、各地で勉強会や見学会など、学びながら交流できる体制が整ってきたことに感謝したい」と、また正本副会長からは「今回の講演会のキーワードは“緑”と“復興”であり、さまざまな災害を乗り越えてきた広島の緑についてもまだまだ課題が多く、このような緑の課題解決の場面に、我々造園人が発言する機会を持ち、存在感を出していく“きっかけ”にしていただきたい」とそれぞれの想いを述べられました。

## 講演①大災害を乗り越えた名園 隅川氏

講演会①では、「大災害を乗り越えた奇跡の名園・縮景園」と題して、隅川明宏様（広島県立美術館主任学芸員、縮景園主査）よりご講演いただきました。1620年、広島藩初代藩主・浅野長晟が築庭した縮景園について、年代ごとに残された貴重な庭園絵図や写真資料をもとに、江戸時代の大河や原爆投下などの災



隅川氏

佐々木氏

害を乗り越えてきた縮景園の改修状況やその変遷を学ぶことができました。また「縮景園は広島県の施設であるが、この土地は広島市の管轄でもあることから、都市計画という点でどのように規制していくのか、文化財優先なのか、周辺住民の生活環境が優先なのか複雑な背景がある」という文化財庭園としての維持・保全の難しさを教えていただきました。

## 講演②ひろしま緑の復興 佐々木氏

講演会②では、「ひろしま緑の復興～平和を象徴する緑の継承～」と題して、佐々木栄治様（広島市都市整備局緑化推進部緑政課花と緑の施策担当課長）よりご講演いただきました。

1945年に被爆した際の貴重な写真資料や図面等で当時の状況や、復興に向けての取り組みの過程を学ぶことができました。

講演の最後には「広島市の緑の復興を支えてきたのは、広島平和記念都市建設法と供木運動であり、多くの方が平和を願う強い気持ちと、先人たちのたゆまない努力で今の緑豊かな広島市があることを知っていただきたい。そしてこれからも平和都市“広島”を国内外に発信しながら、平和を象徴する緑を未来に向けて継承していきたい」と力強いメッセージをいただきました。



講演の様子



見学会の様子



見学会（おりづるタワーから見た平和記念公園）

## 対面交流会と講演に合わせた見学会

講演会後の交流会は、西谷中国総支部長の乾杯で開会した後、全国リーダーズが登壇して挨拶するなど、コロナ対策を実施したなかで、久々の対面交流会で懇親を深めることができました。

翌日の見学会は、講演会の内容に合わせ、縮景園、平和大通り、平和記念公園、原爆ドーム、おりづるタワーを見学した後、現地解散して各自帰路につきました。

## 最後に

コロナウイルスの感染拡大で延期を重ねた地域リーダーズ勉強会ですが、今回は女性活躍推進部会との連携や、キャリ

アップシステムについての講習会、中国総支部の若手後継者や日造協非会員企業の皆様との情報交換会など新しい取り組みにも挑戦しました。

これにより、中国総支部内でも新会員が増えそうな気配もあり、今後の展開が楽しみなところです。

今回の広島開催をステップに、地域リーダーズの更なる発展が、造園業界全体への発展に繋がっていくことを期待しております。

最後になりますが、2022年度地域リーダーズ勉強会（広島）の開催に協力してくださった多くの方々に深く感謝申し上げます。

## 日造協 フロリアード2022 概要を説明

### 自民党 2027 横浜国際園芸博覧会（花博）推進特命委員会



「アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）」の概要を説明する和田会長

令和4年12月16日に「自民党2027横浜国際園芸博覧会（花博）推進特命委員会」が自民党本部で開催され、日造協の他、国土交通省、農林水産省、横浜市、（一社）2027年国際園芸博覧会協会が出席しました。日造

協からは、AIPHの日本国代表会員の立場で和田会長が出席し、令和4年4月19日～10月9日までオランダで開催されていた「アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）」の概要について説明を行いました。

ふる  
と自慢  
沖縄県豊かな自然と新・古・アメリカが混在する  
沖縄本島西海岸の嘉手納町

水釜海岸 (サンセット)

沖縄といえば、真っ青の海と白い砂浜、首里城や美ら海水族館などの定番スポットを思い浮かべると思いますが、今回は弊社所在地の『嘉手納町』についてご紹介します。

かな雰囲気が漂う町です。西海岸でもあるので、絶景のサンセットスポットです。夕日がとても綺麗で、夕方になると多くの家族連れの散歩・ウォーキングコースとなっています。

嘉手納町は、那覇から北へ20キロ程の沖縄本島西海岸エリアに位置し、南東部は嘉手納基地で、北谷町と沖縄市に接した国際色豊

周辺にはダイビングショップも数多くあり、週末は、シュノーケリング、ダイビングを楽しむ人が集う場所で、外国の方も多く外国チックな

「海が見えるそば屋」

雰囲気も感じられます。

また、水釜海岸の防波堤には子供たちが描いたポップアート?が描かれ、中には傑作がいくつもみられるので見て回っても楽しめます。

ひとしきり海岸沿いを散策した後は、「海が見えるそば屋」で食事をするのもおすすめです。窓から絶景の景色を眺めながらの沖縄そばは絶品です。

## 事務局の動き

## [1月]

- 5(木) 新年挨拶回り (国交省他)
- 6(金) 新年造園人の集い (中止)
- 12(木) 資格制度委員会 (新規制度等部会)
- 13(金) 地域リーダース会議
- 16(月) 登録造園基幹技能者講習テキスト編集委員会
- 19(木) 沖縄支部・支部との交流会 (沖縄県)
- 21(土) 茨城県造園団体賞詞交歓会
- 21(土) 登録造園基幹技能者講習 (北海道) ~1/20
- 22(日) 全国造園デザインコンクール予備審査会
- 24(火) 日本大学出前講座
- 25(水) 登録造園基幹技能者講習 (東京) ~1/26
- 26(木) (一社) 日本植木協会総会
- 26(木) 関東地方整備局と関東総支部・支部との意見交換会

## [2月]

- 1(木) グリーンインフラ産業展 2023 (会期中にグリーンインフラ官民連携PF第4回シンポジウム開催) ~2/3
- 2(金) 技術委員会 (全国) グリーンインフラ産業展見学会含・女性活躍推進部会 (経営者小会議)
- 6(月) 財政・運営部会
- 7(火) 広報活動部会
- 8(水) 登録造園基幹技能者講習委員会 (試験委員会)
- 9(木) 事業委員会 (全国)
- 10(金) 運営会議
- 11(土) 全国造園デザインコンクール表彰式
- 14(火) 植栽基盤整備ハンドブック編集委員会
- 15(水) 登録造園基幹技能者講習委員会
- 16(木) 街路樹剪定士指導員研修会&スキルアップ研修会~2/17
- 21(火) 造園技術フォーラム部会
- 22(水) 第4回造園施工管理技術検定委員会
- 24(金) 地域リーダース会議
- 27(火) 造園・環境緑化産業振興会 SDGsセミナー
- 28(水) 資格制度委員会 (全国)
- 2022年アルメーレ国際園芸博覧会第3回屋外展実行委員会

## [3月]

- 2(木) 女性活躍推進部会
- 3(金) 四国総支部・支部との交流会
- 7(火) 広報活動部会
- 8(水) 建設産業人材確保・育成推進協議会 全国担当者会議



ことができ、自分オリジナルの料理が1つ完成することで達成感も得られます。

それに対して“相手へ振る舞う料理”は、食材へのこだわり、食べる人の好みや健康面にも気遣いながら作るため愛情が加わることです。そのため普段より、何倍も美味しい温かみのある料理に仕上がります。また食べた人の率直な意見を聞けることで、料理に対するレベルアップにも繋がっていきます。さらに「美味しいかったよ。また作ってね。」と言われると“次も頑張って作ろう！”とやる気になります。

私が考える“自分のためを作る料理”は自分の好きな食材・食べたいもの・好みの味で作ることができ、基本なんでもアレンジできるということです。それは今までにない組合せを発見する

◆  
母が小さい頃から教えてくれていたおかげで、小中高の調理実習では先生の助手の存在にも抜擢され、クラスメイトのサポートを務めることもしばしばありました。

◆  
その頃から“自分のためを作る料理”と“相手へ振る舞う料理”は全然違うと身をもって感じるようになりました。

◆  
私が考える“自分のためを作る料理”は自分の好きな食材・食べたいもの・好みの味で作ることができ、基本なんでもアレンジできるということです。それは今までにない組合せを発見する

協和環境整備工業  
水木綾香  
愛媛県支部

樹木の根巻き / 幹巻き、植樹、治療など  
多彩な用途に

麻縄 / 麻布、しゅろ縄を取り揃えております

商品の詳細は  
弊社オンラインストアから!

<https://www.usui-nouchikusan.com>



「お好みパレット便」ご利用ください!

・お得なパレット価格で  
お届けします

・小ロットずつ色々な商品を  
自由に組み合わせることができます



お問い合わせ  
TEL: 0250-62-3926

〒959-1944 新潟県阿賀野市金屋765番地  
TEL: 0250-62-3926 FAX: 0250-62-1206

臼井農畜産  
<https://www.usui-niigata.co.jp/>  
✉: usui@usui-suibara.co.jp



私たち はまごころ企業であり続けます

うすいのうちくさん  
有限会社臼井農畜産

